

令和7年度 小千谷市立南中学校 3学期の様子 2/9~2/13

2月9日（月） 「企業見学訪問」



1年生が、総合的な学習の時間に「株式会社たかの」様へ企業見学訪問に伺いました。業務内容や商品開発の話、工場を見学させていただき、小千谷の企業の魅力を学ぶことができました。生徒はメモを取りながら、熱心に説明を聞いていました。工場見学では、パックごはんの製造過程に興味津々の1年生でした。

2月10日（火） 「クロスカントリースキー」



2年生が、体育の授業でクロスカントリースキーをしていました。今年の積雪は十分すぎるほどあります。久しぶりの天気の中、気持ちよさそうに滑っていました。小学校1年生から滑っているだけあり、きれいなフォームで滑ります。上手いです。

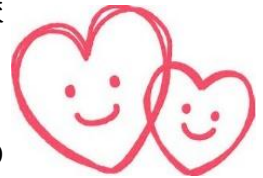
2月12日(木) 「相手の心を知ろう～望ましい人間関係づくり～」



2月4日(水) 5時間目に2年生の保健の公開授業がありました。今日の授業のねらいは「①考え方や性行動について、性差・個人差があることに気付くことができる。②お互いを思いやる、認め合う交際や人間関係について考えることができる。③人間関係でよりよい関係を築いていこうとする心構えを持つことができる。」でした。養護教諭を中心に学年部の職員全員での授業となりました。詳しい内容は「保健だより」をご覧ください。

保健だより

南中学校
保健室
NO.11
R8.2.10



Happy Valentine's Day
for you for me...



2月14日は「バレンタインデー」ですね。皆さんは誰かにチョコレートを渡しますか？好きな人だけでなく、仲良しの友だちや、お世話になっている人に渡す人も多いようです。

自分以外の人を好きになる感情を持つことは、とてもステキなことです。「顔が好き」「性格が好き」「雰囲気が好き」などなど…理由はいろいろありますが、人に興味を持つことは、思春期には当たり前のことです。人を好きになることで、今の自分を見つめ直し、自分磨きをしてもっと輝いてほしいと思います。

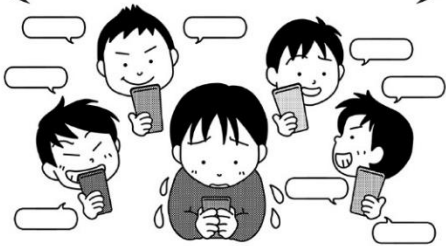
友だちとの「やりとり」見直そう

思春期真っ只中の中学生は、人間関係に悩むことが多いです。「自分がされたら嫌なことは、人にしない」当たり前のことですが、皆さんはできていますか？仲が良いから何をしても、何をやってもいいとはなりません。皆さんは、どんな友達が欲しいのでしょうか？自分は友達にとって良い友達なのかな？と考えてみてほしいと思います。



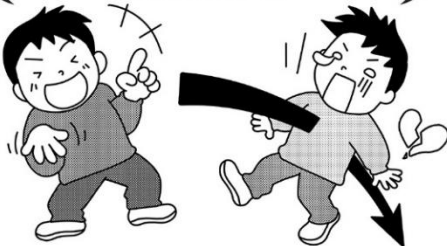
思春期は、大人と子どもの間です。未熟な部分がたくさんあります。もちろん失敗だってたくさんします。でも、一人一人が自分の発する言葉や行動をよく考えてみることで、成長へとつながっていく鍵になるのです。中学校での失敗を素直に見つめて、自分らしく人間関係を作れる人になってほしいと思います。

(自分が言われたらどう思う?)



まずはそこから考えてみて

(言ったほうはすぐに忘れるけど)



言われたほうは一生忘れない…

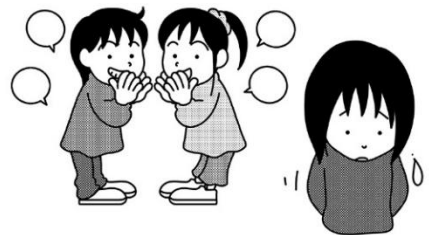
友達の心傷つけない
言葉づかいを考えよう

(言葉ひとつで、友達を傷つけることも 助けることも)



どちらの言葉を選びますか?

(悪口を言い合うことで仲良くなった人って…)



本当の友達って言えるかな?



2年生「性に関する指導」を行いました

2月4日(水) 5限 「相手の心を知ろう～望ましい人間関係づくり～」

「性」とは… 「心」+「生きる」

「自分と相手を理解し、
思いやりながら生きること」

- ★心と生命を意味するもの
- ★人と人との関わりにおいて大切なこと
- ★自分らしく生きること

はじめに1年生の時と同じように、「性」とはどんなものなのかを考えました。性＝「心」+「生きる」と書きます。体のことだけでなく、心も大きく関係しているものが性であること。「心と命を意味するもの」「人と人との関わりにおいて大切なこと」「自分らしく生きること」という意味があり、すなわち「自分と相手を理解し、思いやりながら生きること」と説明しました。恥ずかしいことという印象を持っていた生徒も、生きていくために必要なことだと理解できたと思います。

どうして体が変化するの？

第二次性徴(こころの変化)

前頭前野(人間らしさ)

脳下垂体(性腺刺激ホルモンを分泌)

卵巣: 女性ホルモン
精巣: 男性ホルモン

欲望

理性

次に、二次性徴の復習をしました。体の変化について、月経や射精が起こることや仕組みを解説しました。小学校の時と違い、自分の体に今起きていることを再確認できました。成長には「個人差」が大きいこと、脳の「前頭前野」が完成に近づくことで、理性のある行動ができることも分かりました。

LGBTQ+

「L」…レズビアン(女性の同性愛者/女の人が女の人を好きになる)
 「G」…ゲイ(男性の同性愛者/男の人が男の人を好きになる)
 「B」…バイセクシャル(両性愛者/男性も女性も恋愛対象)
 「T」…トランスジェンダー(心とからだの性が一致しない)
 「Q」…クエスチョニング(自分の性を決められない人)
 「+」…プラス(この他にもいろいろな性があることを表現)

十人十色

ズレ

個人差＝性意識の違い

事例を使い、付き合

っている中2の男女のやり取りから、お互いの思いの「ズレ(個人差)」を考えました。「お互い好きな気持ちは同じだけど、性意識や性行動には、ズレがある」と気が付きました。お互いの性意識、性の特徴を理解することが重要だと学びました。恋愛関係も人間関係です。人間関係を上手く作っていくためには、どんなことを大切にしていかなければいけないかを一人一人が考えました。また、現代ではいろいろな性が語られています。これから生きていく中学生は、早い時期からいろいろな性があることを理解し、人と人の付き合い方を学んでいってほしいと思います。何かに当てはめる必要はない、「自分らしく」「自分自分」と考えることが大切です。



<生徒の感想> 素晴らしい感想がたくさんありました!一部を紹介します。

- ・考え方が違う場合は、お互いが相手のことを知って関わっていけばよいと思った。
- ・「多様性」の大切さを再認識した。人、考え方を認めるために思いやりを大切にしたい。
- ・相手の気持ちを考えることを一番大切にしたい。
- ・相手と違う感情があるけど、私も理解されたいし、相手のことも理解したいと思う。
- ・思春期は個人差がある、それを否定せずに認めることが大切だと思った。
- ・思春期は誰もが経験する。個人差があるからあまり人と比べなくていいと思った。
- ・「性」についての思いや正しいと思うことは、個々に違うと思った。



2月13日(金) 「その努力に拍手!! 魚沼四市二郡中学校新人スキー大会」



本年度の魚沼四市二郡中学校新人スキー大会が開催され、当校からは、1年生の女子生徒1名が、出場しました。日々の練習を頑張り、学校代表として大健闘したことにあらためて感謝します。結果は次のとおりです。

- 魚沼四市二郡中学校新人スキー大会 2月13日(金)
会場：十日町市吉田クロスカントリースキーコース
中学1年女子6kmフリー 5位